

杣添尾根・横岳 報告書

【日時】2月15日（金）夜発－17日（日）夜千葉着

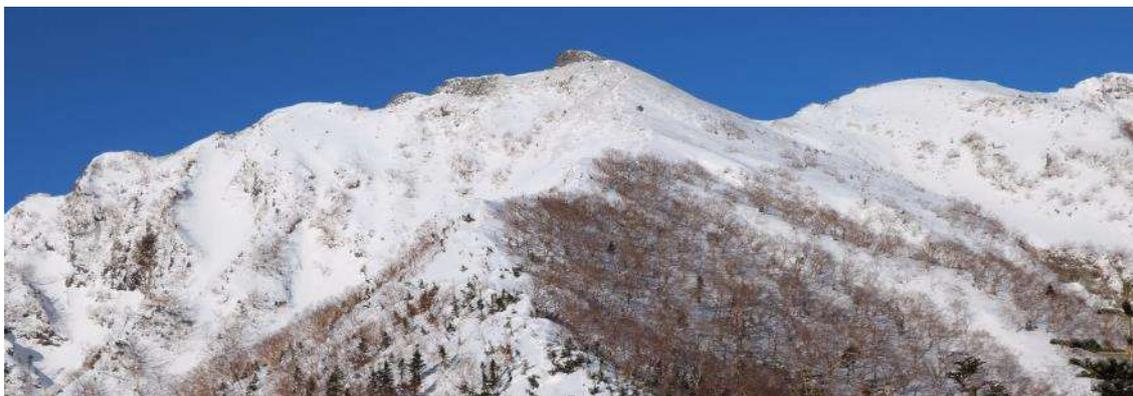
【天候】晴れ

【行程】15日 穴川IC→道の駅・南きよさとにて仮眠

16日 6:00 発→7:30 横岳（杣添尾根）登山口→11:00 幕営地着後、少し上までトレースをつける

17日 7:20 出発→9:00 三叉峰→9:30 横岳山頂→三叉峰→赤岳方面途中までピストン→往路を戻る→13:30 登山口着

【参加メンバー】佐藤（CL）、菅野香、松本、上荒磯、尾崎、村瀬、秋本（記録）



杣添尾根 中央・三叉峰、右端・横岳奥の院

【内容】

本格的な（？）雪山 2 回目で、ドキドキしながら、いろいろと初めてづくしの山行となりました。天気予報は、土曜は雲が残り、風もあるものの、メインとなる 2 日目は晴れ予報。

登山口から少しの間は地表近くが凍っているところに多少雪が積もっており、アイゼン不要。40 分ほど歩くと、簡易トイレもある広場に出ます。ここでアイゼンを装着し、杣添尾根の樹林の中を歩きます。しっかりしたトレースがあり、雪も多くなく、期待していた初わかん、初ラッセルはお預けになりました。道が良いため、どんどん歩けます。途中からは、陽も射ってきて、かなり暖かい。結局、最後まで雪は深くならず、この日の目的地の幕営地までは午前中に到着してしまいました。テントをたてて、お茶をして一息ついて、明日のためにし

っかりしたトレースをつけようということで、わかんをつけて、森林限界まで散歩しました。通常であれば、冬道を通ることになるということですが、雪が締まっており、稜線（夏道）の方に出て、少しあるいたところでこの日はUターンし、テントに戻ります。稜線からは、横岳ははっきりと見えましたが、赤岳は雲の中。

その後は、テントの中に入ってしまい、夜まですることがないので、早々に宴会が始まりました。初の水づくりを担当することになりましたが、途中で水が大量に入った鍋を倒してしまい、いろいろなものをびちゃびちゃにしてしまう（すみませんでした！）というアクシデントがありました。食担さんの、前菜（きゅうりとセロリ？のマリネ？）・カレー鍋・みんなで持ち寄ったおつまみなどなどで、おなかいっぱい。昼すぎから7時ごろまで宴会は続き、暗くなった頃に就寝となりました。



樹林帯でテント設営



水づくりしながら宴会中

夜中、時折、突風が吹く音が聞こえてきて、多少不安になりましたが、朝起きてみると、いい天気、風もありません。

昨日に引き続き、稜線を歩いて、山頂を目指します。時折、ずぼっと膝上まではまりますが、基本的にはしっかりした踏み跡があり、この日も期待したラッセルはなし。横岳・赤岳・富士山が真っ青な空に映えており、その他の山々も綺麗に見えました。すでに山頂付近にいる先行パーティーの姿、トレースなどもはっきり見えます。柚添尾根の終着点？（三叉峰）付近は傾斜が強く、緊張もあって、息を切らしながら登りました。三叉峰から、右に折れて、間もなく横岳山頂（奥の院）。赤岳鉱泉や、反対側から登るコースなどをいろいろレクチャーしていただきながら、少し長めの休憩をとりました。



三叉峰前の登り



奥の院手前のハシゴ



横岳（奥の院）山頂

来た道に戻り、三叉峰から、三叉のうちの残った道、赤岳の方向へ向かいます。途中にあった急傾斜斜面のトラバースも初めての経験で、とても怖く、いくのをやめようかと思いましたが、みなさんに助けをもらいながら、なんとか通過。帰りのことは考えないようにして、さらに近くに見える赤岳の絶景を堪能

能しました。帰りは大したことなく感じました。そこからは、一気に幕営地まで戻り、テントを片付け、一気に駐車場まで下りました。

温泉で体を温めた後、近くにある日本井協会主催のランキングで日本一の親子井のお店に向かいましたが、到着したときにはすでに本日の営業終了。SAで食事をして、帰路につきました。

みなさんいろいろありがとうございました。楽しかったです。就職でお引越しの上荒磯さんとは、最初で、多分最後の山行になってしまうかも知れず、残念です。作ってくれた朝ごはんのトマトリゾット、美味しかったです。今回は、天候もよく、風もなく、雪も締まっており、かなり好条件でした。これからは、強風や、深雪など、様々な雪山の表情も見てみたいと思いました。

以上

